

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2009-54183(P2009-54183A)

【公開日】平成21年3月12日(2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-010

【出願番号】特願2008-270389(P2008-270389)

【国際特許分類】

G 06 Q 50/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/60 1 2 6 N

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のコンピュータおよび第2のコンピュータを用いて、患者に対して施与されるべき薬物治療が正しいかどうかを証明するための方法であって、該第1のコンピュータ、該第2のコンピュータは記録プロセッサを有し、該方法は、

遠隔位置において第1のコンピュータに、第1のソースからの患者識別子、および第1の薬物識別子を提供することにより、薬物治療を患者と関連づけるステップであって、該第1の薬物識別子が該患者識別子を含むステップと、

遠隔位置において、該第2のコンピュータから患者のアイデンティティに関連する情報にアクセスするステップと、

第2のソースからの第2の薬物識別子を第2のコンピュータに入力するステップであって、該第2の薬物識別子が該患者識別子を含み、該第2のコンピュータが患者のアイデンティティ、薬物治療、および医療デバイスに関連する情報にアクセスするステップであって、該薬物治療は治療タイプを有する、ステップと、

該第2のプロセッサが該薬物治療は該患者に以前に関連付けられているか否かを判定するステップと、

該第2のコンピュータが、該薬物治療が該患者に以前に関連付けられていない場合、第1のエラー信号を提供するステップと、

該第2のコンピュータから該医療デバイスのアイデンティティに関連する情報にアクセスするステップと、

該第1および第2の薬物識別子が同じ患者識別子を含む場合、該第1のコンピュータから該医療デバイスに複数の動作パラメータを提供するステップと、

該第1のプロセッサが、該医療デバイスの該複数の動作パラメータが該薬物治療と一致するか否かを判定するステップであって、該動作パラメータは、中央位置から提供され、該動作パラメータは該第2のコンピュータを通過することなく該医療デバイスに提供される、ステップと、

該医療デバイスの該動作パラメータが該薬物治療と一致しない場合、該第1のコンピュータがエラー信号を提供するステップであって、第2のエラー信号が該第1のエラー信号とは異なる、ステップとを

包含する方法。

**【請求項 2】**

前記医療デバイスは、輸液ポンプである、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記第 1 のコンピュータに薬物識別子を提供する工程は、入力デバイスによって生成される信号をコンピュータ読み出し可能媒体フォーマットに変換する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記患者識別子は識別子のグループのうちの 1 つであり、該識別子のグループは、患者の名前、患者の社会保障番号、患者の血液型、患者の住所、患者のアレルギー、病院の患者 I D 番号、病院でのベッドの位置、および患者の親族の名前からなる、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記動作パラメータは、動作パラメータのグループのうちの 1 つであり、該動作パラメータグループは、単位時間当たりの薬物の流れ、薬物の量、服用単位、服用持続時間、服用容量、薬の名前、用量単位、およびモニタリング制限からなる、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 6】**

第 2 のコンピュータに入力するステップは、入力デバイスによって生成される信号をコンピュータ読み出し可能媒体フォーマットに変換する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。